

公共施設のあり方を考える

～とりあえず可視化してみよう～



宝塚市

都市整備部

施設マネジメント課

1. 公共施設の抜本的な見直し（再編）を検討中

どう再編すべき？ ⇒ まずは状況把握！

公共施設が一斉に老朽化

高度経済成長期に一斉に整備された公共施設が一斉に老朽化し、更新・メンテナンスに必要な費用が増加しています



職員数減少による人手不足

人口減少に伴って職員数が減少し、公共施設を運営したり、適切にメンテナンスをするためのマンパワーが不足しています



STAFF



厳しい財政状況

人口減少・少子高齢化等の影響により社会保障関連経費が増加し、最新の財政見通しでは今後10年間で累計マイナス112.8億円の収支不足が見込まれています



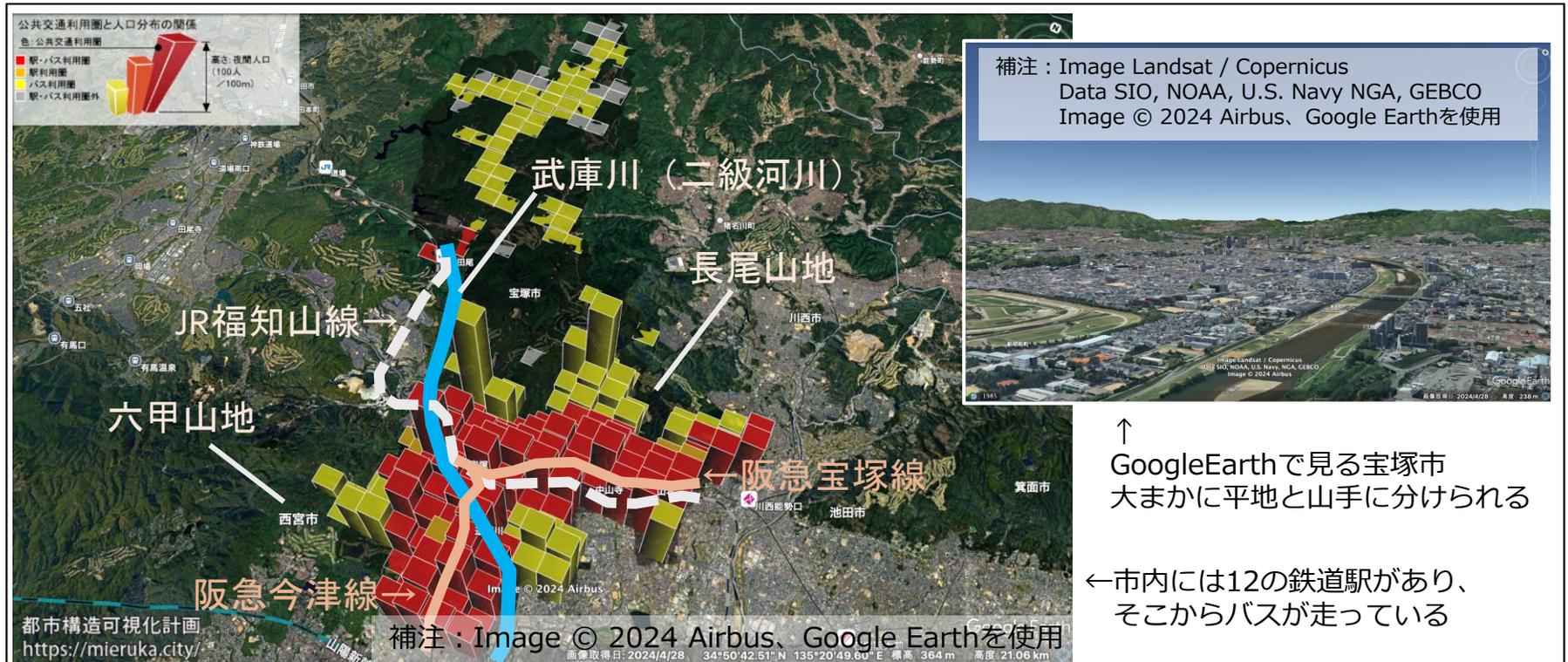
社会構造・環境の変化

社会構造の変化により、利用者ニーズに変化が起きているます
また、地球温暖化や災害の激甚化など環境面も変化しており、これらへの対応が求められています



2.宝塚市の特徴は？

公共交通利用圏（色）と人口分布（高さ）



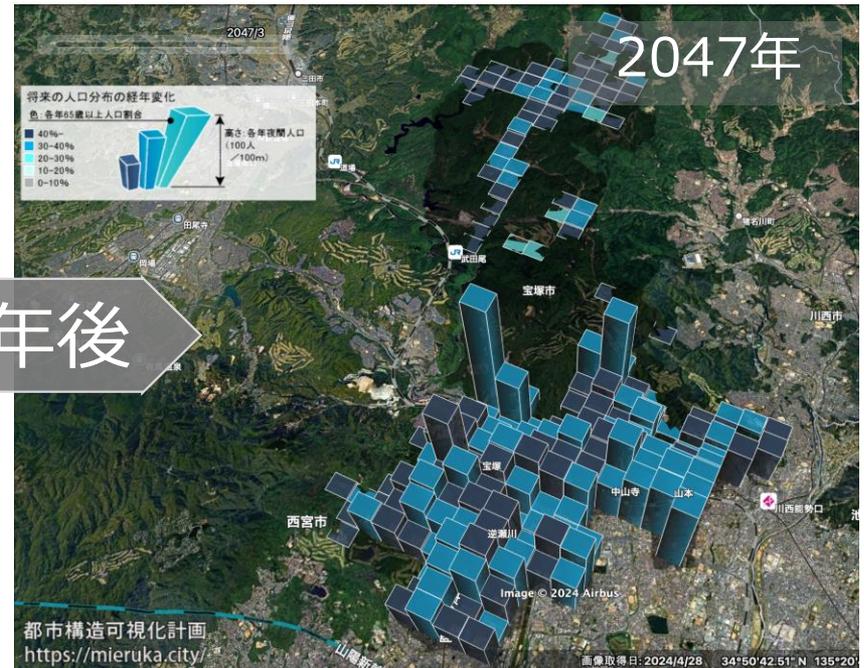
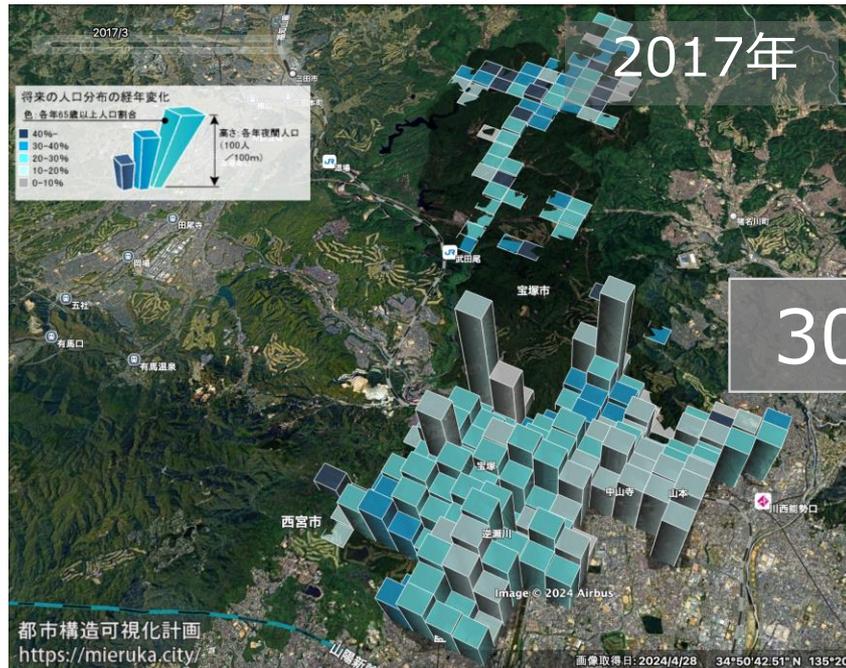
本市は都市計画法に基づく市街化区域に概ね整合する南部市街地と、豊かな自然環境と田園環境を有する北部地域で構成されている

南部市街地は、大半が鉄道駅から1km（徒歩15分圏）に包含されており、鉄道の利用が多いが、山手の住宅地には大きなマンションが多く、人口・バス利用ともに多い

⇒ 集客や利便性の求められる公共施設は鉄道駅周辺に配置すべきでは？

3. 今後どうなっていく？

将来の高齢化率（色）と人口分布（高さ）



30年後

補注：Image © 2024 Airbus、Google Earthを使用

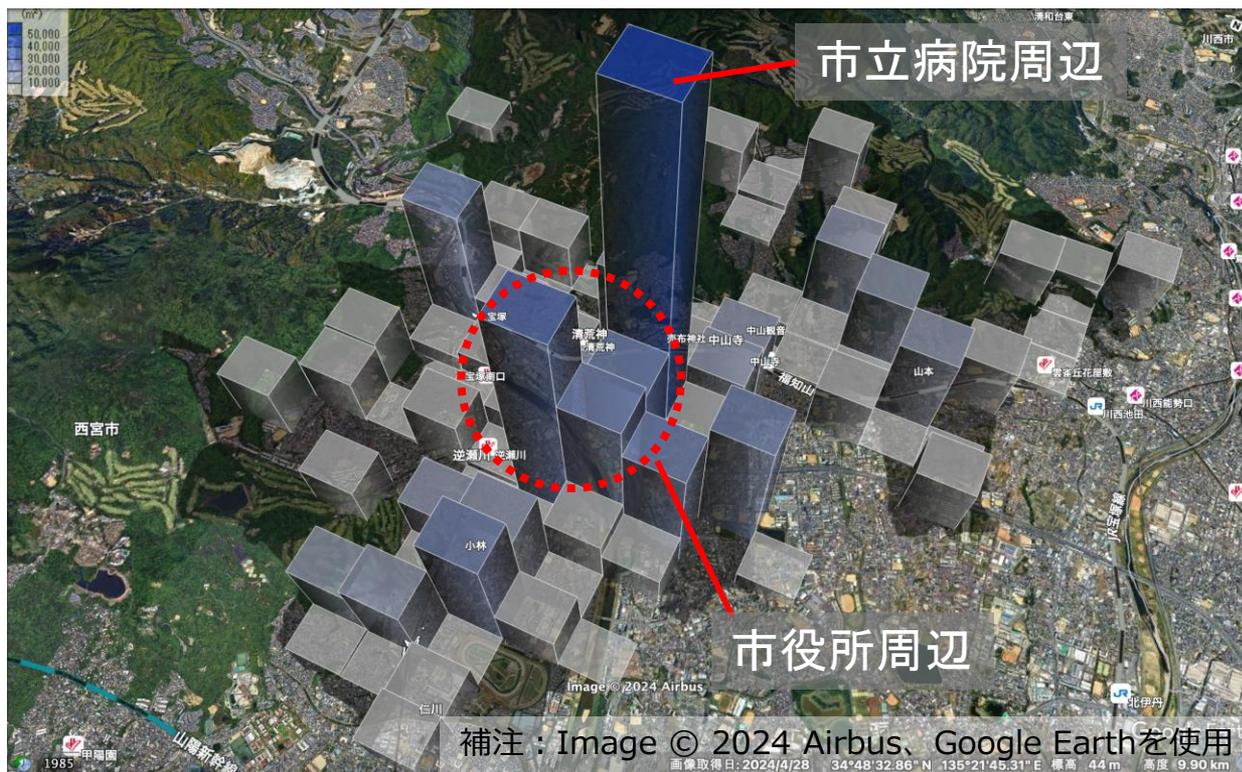
全体的に人口が減少し、高齢化率も高まっていく
高齢化が進むと、徒歩での移動が難しくなっていく

⇒ 地域活動の場となるような公共施設は生活圏に合わせて配置すべきでは？

※特に傾斜のある山手の住宅地など、バス利用メインの地域

4. いまの公共施設の分布は？

公共施設の床面積（色・高さ） ※メッシュごとの合計



市役所や市立病院周辺に公共施設が集中している（駅から少し離れている）

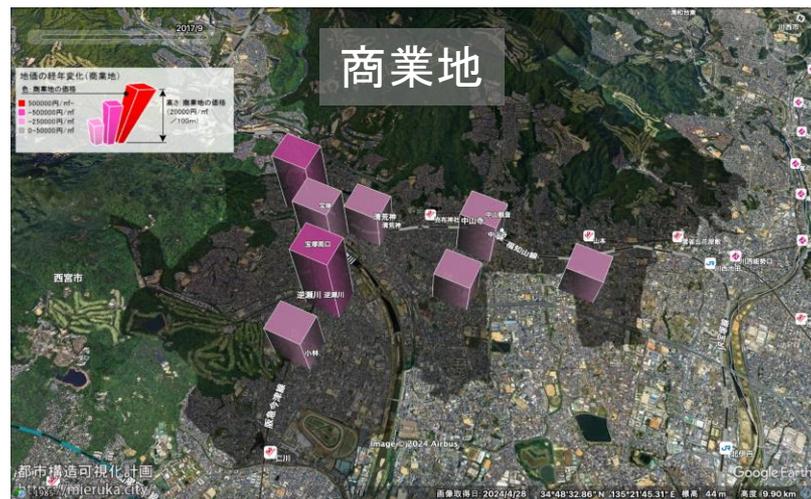
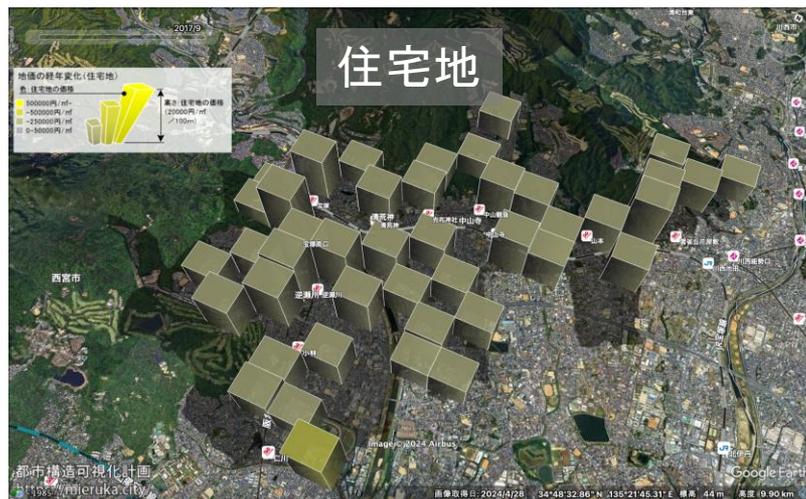
⇒ 集中している公共施設の一体的な活用が可能では？

学校施設を中心に大きめの公共施設が市内に点在している

⇒ 地域活動の場として活用が可能では？、小さい施設を集約できるのでは？

5.各エリアのポテンシャルは？

地価（住宅、商業、工業）（色・高さ）



補注：Image © 2024 Airbus、Google Earthを使用

- ⇒ 駅周辺を中心に、住宅・商業の地価が高い
- ⇒ 官民連携のポテンシャルがあるのでは？
- ⇒ 売却することも考えても良いのでは？

本市では工業の用途地域は限られたエリアしかない

- ⇒ そのエリアの公共施設は周辺企業の活用ニーズがあるのでは？

6.まとめ

課内打ち合わせにて共有



- GoogleEarthを使った可視化の面白さを体感
 - 立体的に可視化することで気づきが得やすい
 - 住民説明にも使えそう
 - いろんなデータが使えて便利、もっと充実すると助かる
- ⇒ 今後も積極的に活用していこう！

宝塚歌劇で有名なまちです！
ぜひお越しください！

